

瀬田川プランクトン調査結果速報

～ 第51報 ～

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

平成15年3月24日

1. 最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種



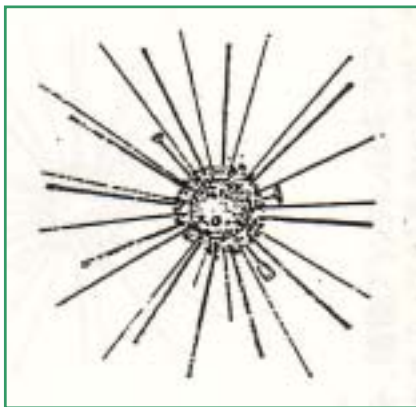
Carteria sp.

(カルテリア)

緑藻綱

小型の緑藻で鞭毛を4本持つ。細胞は洋梨形から楕円体形。長さ約10μm、幅7μm位。

動物プランクトン第1優占種



Raphidocystis sp.

(ラフィドキスティス)

太陽虫類

細胞は球形で多数の仮足が放射状に出ている。仮足の中心の軸系は細胞内の中心粒で終わっている。細胞は粘質物に覆われていて、粘質物の中に多数の骨片がある。

コメント

植物プランクトンはササノハケイソウが減り、緑藻のカルテリアが増加し優占種となった。この種は、4本の鞭毛を持っている種類である。動物プランクトンは、太陽虫に属するラフィドキスティスが最も多かった。この種は、平成14年4月にも多く見られた種類である。

2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

(1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
肉質虫類	<i>Raphidocystis</i> sp.	300

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
繊毛虫類	<i>Synchaeta oblonga</i>	280

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当

平成15年3月24日

第51報

(2) 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	8		
(黄鞭) <i>Ochromonas</i> sp.	50		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	10		
(黄鞭) <i>Mallomonas</i> sp.	10		
(黄鞭) <i>Pseudopedinella</i> sp.	20		
(珪) <i>Melosira varians</i>	40		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	340		
(珪) <i>Skeletonema potamos</i>	10		
(珪) <i>Rhizosolenia longiseta</i>	10		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	40		
(珪) <i>Synedra acus</i>	5		
(珪) <i>Synedra</i> sp.	10		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	80		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	160		
(み) <i>Trachelomonas oblonga</i>	150		
(緑) <i>Carteria</i> sp.	390		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus</i> var. <i>mirabile</i>	10		
(他) その他の植物プランクトン	20		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	98	7.1	5.1
(珪) 珪藻綱	475	34.3	34.3
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	240	17.4	21.3
(み) みどり虫藻綱	150	10.8	2.0
(緑) 緑藻綱	400	28.9	37.3
(他) その他のプランクトン	20	1.4	0.0
総 細 胞 数	1383	総体積	7.65E+05
種 類 数	19	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞 / ml)
ただし * 印の種は群体数(群体 / ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位: %)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。